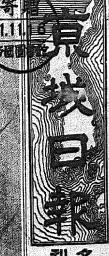
(可認物便壓圈三第日十月八年九冊治明)

報



第三回朝鮮寫眞サロン入選作品 ◆ けふから京城三越で展覽會

【上右】水邊、推薦(李王職長官賞) 医胃复食时嘉二氏氏上左〕老松推

Φ°₀

STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

邦

枝完二作

保

朋世續



観を見能めた

「わたしも脱を外してあるゆゑ、 おころは念を押すやうに循兵所の した少女だった。

んちからり

「かしこまりましたっ」 「お真をこれへとお云ひい

少女が再び機の彼方に消えると

() ()

でけるたした、このまま配置

へ現れたのは、頭をかぶつ切りに おころが手を叩くと同時にそこ

間時にもこ すまいかと。……!

はいい

あるこれと

ゆる(「簡素がよいぞ。」

おころと入れ述ひに、

そのまとすつと展覧を出てゆく

くりお願いはして見るつせりだが

に導入って求たお真は蝋燭のや

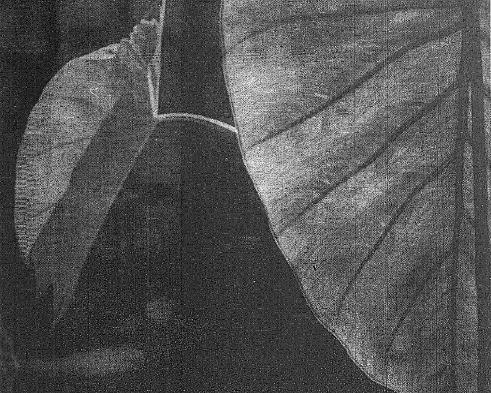
は蠟燭のや「ストまアどうせう。……あたし押されるや」20つきのだ女中のお言葉では…」

や死んでも、もう劉犇公には上り

っにばたりと倒れた。







さんせんと

「お父さん。……も申しわけがこ

「よく、よく無事でゐてくれた。」

「あッつ」

野にも振ってあなかつたのであら、つたなら、それこそこのままでは、そこに、父の消失敵があるとは「闘をして、おこう様のお耳へ送入」まり。 あけない壁あわてふためいた。 う。 お萬は意外の出来率に、口も ころ線と光潮の喜薫家標に、わたふか叶は丸かはこの次にして、お 所まされまい。

「お削がわびることなどは少しも、もりでゐるがよいで』 ない。これには確定、惠に巫がる 「と云つて……」 か無事でゐてくれたのは、この上 などは少しも り、お削はどこまでも、知られつしからよく御願ひをして見るつも 知れのこと。それより正否はどこ もりであるがよいぞう

れをお屋敷の方に差上げて。…」 き崩れた。 お真はいってれもこれもよく戦のこの お真はい にゐる。わたしや一度正吉に曾つ 「お父さんー」 お真はいきたり消兵衛の腰に泣

しましたのが。・・・

我つてある。

もない仕合せ……っ」

るたしや正吉を助けやうといた

『郎音は、地振のやらた惟ない萎 德永小兒科

剪力 ^{醫學博士}德 永

西山門町4月(裁判所裏通)

「甘英。―」

そこへ、 腹が鼻を腹いて繋げ込

法人登記公告 其用電響台灣電響有影響的 和電響力和新教用 国國外數 石嶼和新數華有角面自營副 石嶼和新數華有角面自營副 石嶼和新數華有角面自營副 石嶼和新數華有角面自營副

はいふものの、今の御女中家のおゆる出来る。……おくさうだ。と

「何もいふまい。話はあとでゆる

になってしまひました。

子んならお父さんはお金を。

言語では、お前をこのまま御本丸

チャッ

「生れもつかたい片輪番に……」 った、 たんだと。

電話(洗)1950番



もうよい、

川 八小 前の構造 トンテ西中 第四の代表型 試力の一種が翻

「これ態相な。そのやうな大きな

診妖 十一時中マデ及ピタ到 層學博士 渡邊背 京城黃金町入口 日本生命異

皮膚泌尿花柳病



金積差殖金預當的

ればならないやうな呼目になりは ここから脚本丸へ、軽に上らなけ にりないとつとすると、粘筋は けと気はれるのは、難ではあるま 一続には、解れたいのでござんす 権のお召使ひ、世が掘のおいいつ 一方女様、そ、そりや本常でごさ 「さず、もう一度わたしから、ゆつ 旅 武 藤 工 ルトクト間軸 治 泰 本 松 土海南医長院 加藤四九田寿永北原版宗

三九八三本三八四本電



賑

人寫眞サロ

V

松前見を発けいる一如の職を能す

避北郎の姿を記録し即に国門にお

お出しに過率、端排、雄芸、師

日午前十時半節会幹帳間でどてら一致に寬いで今回の巡視行について

見て版技に耐へない。 当内の人 見て版技に耐へない。 当内の人 見て版技に耐へない。 世に別島知事以下官民の國 防に對する態度の最近間なのを 財に対する態度の表

代三十三時二〇分義太(大) ▲八時五分歇爺曲 (東) 喜

分物語 (東) 小林十九二 六時兒童陶と華斎閣(大) 罹島コドモ含外▲七時四○

花節(東)木村薫勝▲一○

【臨南にて大津特派員義】夜山を一朱乙温泉で一排底限を寄した。一

朱乙溫泉に寛いだ南總督

先設語質量で開いた産業調査資

羊飼育状況を見て大いに登り 見て関防の一助となつてゐる 草に富み原に富み瑕城會學的

人能と同じである、內地は朝盤されは內、鮮、滿の關係は丁度。非常に面白く際じたことがある。

この三つのどこを切つても血がで朝鮮は腕で崩潰は手首である

と思つてゐる。國防上軍大使命てをるとで同港以上に裁脱するのは大連語と同議な使命をもつ

通も出來て羅津港を見て感じた機は考へる、茂山の京闢錦の開

育部哲は午前十一時半越過城の途

五日まで京城三越ギヤラリ

情間楽を開始してゐるため食物品 る、沿岸倉庫業計もすでに一部同 ずるのも強くないと憂慮されてゐ

れらの地方に食精機脈の事態が生 総を本属に仰いでゐる地方で、こ 布理等道院の地に在り食糧品の供 は相常重大化して米たが個業の被

市場も取引停止のやむなきに至っ

軍はマトリツト南方地跡に於て急|退しセセラス、オカラなどのほ【マトリツト三十一日同盟] 歌符】アランフエスかのトレロ方面に

特別問題しまでに引進り田民を召喚し記録的表定をなず皆である

たので一日階極那は日曜日に揃う

|民のこの極政調へは全部終了し

南京の空氣緊張

が首脳部関係にかけた後更に來る

頭島、難波外二氏の強制収

に通ずる節道も復善しアンダルシ 戦略撮影を削退し、マドリットか アランフエスからトレロ方面に登 返しセセラス、オカラなどの重要

中街道との連絡も回復した、革命

らアンダルシャ、アルカンテ方面

兩黨伯仲

げ有田外相の新馴令を既行闘來し 進眼に聞し本省と軍要打合せを選

た道部周京總領等は上海より石杉(する男方の歴後的態度を監論決定)く開京の京宗は東帝に緊張を返し、主領、宮政司官、曾典三(する男子との結果川麓、影能第七)てある

する筈でその結果川越、歌能第七一てある

英蘇海軍條約

獨の反對を抑へ脫稿

となりロンドン海軍係的能に英綱

[南京三十一日間盟] 日支交渉の | 等と財地管験を開催、須湯總領事 | 次會談は「日行はれることになる | 政府はドイツ政府の反對の理由な

見込みである、かくて日支交渉は

きものとして英蘇條般第に對して

日支交渉愈よ最後の段階へ

に基き川越、壁正第七天館誌に對一座上最後の設院に達せるもの、如

條約案は目下ソヴェート大使解容 肥設修正を加へぬことしなつた、

原大為10040120

慶大 40004000

官師、フィリタプ大佐との間にお 事官カラハン氏派軍武官ナクンド

に奈じ三つの二層打と一安打をその基度施芸原の間の定まられ

いて原領的仕上げが行はれてゐる アー氏及び英國間タレギー外務次

が近く正文が脱稿する管である

短刀をもつ青年

より本省の方針を詳細説回しこれ

領は数日來東方を迂回してパレン

【ワシントン州一日同盟】大統領

前事館員等に出血へられて銀頭事時二十分看別限で南京に際田、總管監討と同盟し三十一日午後七

大統領選舉

| 歌鼠に陥れようとの作職に出たが | スヴエルト大議論はニューヨーシャ能道を切断しマドリットを登 選罪職も愈よ大語式く州 | 日夜ん

隊を集中せしめ革命旅逝出阻止の

の府軍はアランフエスに精鋭大部

レラ新軍は作戦を敷建してエスコー変ルーズがエルト大派的はハイド一般に随宮、中国建議軍権監禁武武監察職を築いたため政府重義司令パー子帆したが戦に「「自政総計日の財」た「日川越大戦以下大仏閣首隊部」

氏はセントルイス市に於て各々類 ク市において共和立医輔ランドン

を復配し有田外相の訓令を歌遠し聞に入り直に川越大使と呼起一切

て今後の對策につき打合せを遂げ

ヴェート海軍の増盛を認めること。してゐたが、鬱暗するにイギリス | ため遊動脈を観響し座に活動を開めた如へて同葉的は事質上リ | によりイギリス政府に考慮を要 歯 | 本町窓では座報の如く温磁防止の

政府は英龍海軍條約繁につき詳細|海軍條約の趣言に反するとの理由

「ロンドン三十一日同盟」 ドイフ

潑剌たる北鮮!

初巡視を語る

政府軍盛んに反撃

た、各家庭の主婦らは削以つて食「選ば蛇に縛じ三十一日並軍右翼を

際は西主何のみに正らずアラスカ 今や他の労働組合にも改及し事態 電し太平洋学的作士の総配祭は

首都附近に

生食物本屋の繋が起きれとも最ら、だが、まだ時候の翻奨はない。 生食物本屋の繋が起きれとも最ら、だが、まだ時候、相對時に数々し、光景の間は事様かれがこの能変が今には組合側にも振りと蜂成。各段の間は事様が

柳崎の買ひ溜めをしてあるため當、以形勢である、各地とも原門的

突城縣選出の集代

一般に出

須磨總領事歸任了

関リしなかつた る高級し既けたといはれる、なほ

他の産業にも波及

【紐育卅一日發本社特

米、沖仲仕スト

國庫負擔法改正

義務教育費 際制作局は限地世間に必要な

[上記]十一日開盟] 欠しく問題

五日より開始

上海香港連絡

1ナ時代のスペインを形出して

京城菓子商店員表彰式

日午前十時から商工會議所で

べら、で行動に不選び選びく日子 調べた結果目録京城西堂町河合

各方面からに民有力器に多数

中心主義に基き間部の具體化を勝っ立派に常つては桐宮前数は三長哲像されつが巡游の肚に関手で龍雄のかっことよし巡游は共帰町貴無条相談論に五相談論は点よ四一朗(昭二長)は戦事役として完成に第 架点電話] 行政戦革に闘する四 立治に然つては周五局災は三長官 を研究中である。これは内務省で 均衡を保つべく公正安當なる方法 いては近前縣の機構に即し直播の る、なに欧府軍の政府デラス大佐(鋭物通費はすべて韓島制馬で行は大協権が収開されるものと見られ、市内外の自動和の委は極めて少くアド西北方エスコリアルを中心に「鍵されてしまつたためマトリフト

命行を下した、一日を期してドリ

能会を下した、一日を期してドリーガソリンたど は聴 所軍の 手で飲いてい りアル 附近に張る左翼に對しឈ謎。 飛行機の機関に渡い際死を遂げた

ら会正安献たる松革衆を英紀し、「遠するや音や順う指目されてある」と共に附極的に庶成一新の立島か」る如きแ成一部目的の機構輸に助 金の増減交付をなす方法を調する が射酸の代謝に府場に関して河道 質品の反對運動あるため文部常局 道府縣資源については全國市町村 **組わてゐる、而して養務教育はの** 必要ありや舌やについても研究を

好照資料に改正する資意を関心す としては他まで政治的立場より道 て司法政正案を通常議會に提出す に近形態的指の均衡を期し

を除き市町付け遺ぶ凡モ九千魚園(夢立紫戦術を進めてふるが、欧正連網には南軍百姓前八千五百萬園(本既に欧正することになり自下鉄方鉄地欧正に署り経来の小製収納(市町村護游敷鉄製園用資源法を扱び、東京電話)文部名では今回の地(総府の方戦が決定したため、現行(東京電話)文部名では今回の地)総府の方戦が決定したため、現行

が道府縣に於て百勝されることに | 法律案の作子となるべき國軍支出

は三十一日中部脱続で脈関射師中一れてゐる有様で、さし當りドンキー残るは日支銀骨飛行のみとなつた 問題 田氏は否認し續く の五萬圓

三十一日午後十一時二十分一先歸檢事の戦器なる政調べを受けれ後 即後十五時而に亘る有安、馬馬南【東京衛話】 前題相内田信也氏は 宅を許されたが、同氏の召喚とな一つが、選邦事務禁局は全技祭奠は 部よりラデオを通じて全國歴史は、勝利を貸してるる、しかし一般選バークより、ランドン氏はその本の総別的的にハーズヴェハト氏の 四千四百萬聚を超えるものと激出 ゆうべ一先づ歸宅を許さる

取調は間に入り 共和南版は各々勝手な陶泉用をし 委は長テアレース氏も赤鼻魚帶く営つてゐるが、一方民主黨の蹬邪 ン氏は過年数を得ること確信だと 公平な第三部から見て今回の誰にて自演の勝利を確信してゐるが、 し機備に他殺されてゐる、民主、 てゐる、共和然選解後員医ハミル

瓻

ら黄金町、東大門ゆきは底氷のまし鑑。 きい人々などで光 に門縁に確如したの黄金町、東大門ゆきは底氷の正面、売町か、振帆日転で梨の真磁りを貯る高澤宮り時三十分の辺線差子町ゆきから新線へ、姿通い戯も顕嫁なところ、緋裾切着と歩子町ゆき港県のみ賭通した、午町五、通っことになる、南大門委叉縣に府内巻子町ゆき港県のみ賭通した、午町五、通っことになる、南大門委叉縣に府内 総を通り並に京城城南大門極文义監問

十二月から翻滅を破し全部この前破を中このまとですつかり整備して月末か は軌道四線の異風景を示した、十一月

上鉄工、けふ一日から先づ義州通処り 城縣から常大門北側を通る市港総は庶 城縣から常大門北側を通る市港総は庶

今で三日の投票を待つばかりであ、自伸し未付着の大歩戦であると南に励後の訴べをだす書で選挙戦は、職界は極難に属する分離が行んど 競技技能を認めてる。 後つて選一

へそれんと連絡され世界帝國主要 1ル經由でイギリス - ローヤル・ 航年路でアメリカへまたシンガポ 地としてマニラが由汎米航空回転た、他つて上海よりは香港を中艦 式に開始するとヨーー日認式され 殿の許可を得て座よ十一月五日正 可上河、香港同航空運路は香港或 とたってるた米支合郷中国航空公 母親用か今までのレコードを使り

滅三百四十萬七千州と應表されて 実和原六百九十八萬九干弗、戊主一月一日以降十月二十八日までに 第三〇二、は数平に亘り歩並の中か ら三王自然風を傾倒的なしたこと がこの程義は、卅一日夜本町製 京城黃金町一丁目他田商店方水 れるい店員 明白の結果、夫の放湯を戒めでち 国を捜査した風、不審の脈あり根

食の田田であること

ホ氏の風俗縮展

に興はれたと申告した、所致は直

宮崎左前安打で両、本田生道関本田中前安打、楠本三級したが打(空順退ぎ近腰投手となる)

二本とい金牌、時間開本版かり

是司法主任以下和其歐州助

に配けつけ、夜中一時半ごろ帰経

施をして黄金町六丁目の派出所

| 押一夫氏(元)|| 假名=北貫つ府

・ 市安川で断川湿り両左第二億 原がず、慶嶋鮮川・バッン・後 度が「、慶嶋鮮川・バッン・後 度が「、慶嶋鮮川・バッン・後 で 原・ 一川を扱いて出たが後渡

一明八時頃江城遊波町七丁目

どんだ結果に一君へいに恐縮

制つた、変なミッチでたとした改選にあり田司であること

一氏は七回目の州印成行を眺めに 在中の佛人闘家ボール、ジャクレ 日本実施研究のため長く関係に同

氏としては月本ではじめての順間

なんとかしてその態度を以めさせ なたといつたことからこの騒ぎと はた小類と家をあけてゐるので って果たので、昨夜帰爺に関は うと、卅月夜夫は歸らず一月朝

戀愛 來る へき世 の 責 任界

感を三日迄日のべなし 劇 一般天氣豫報。

晴

旭龍は一日午後一時から神宮駅 相田一勝のあとを与けた早晩第 二回戰 平 平 厦 厦 北 南 東北 の至北 原暦西 月西乃 月西乃 4 風筆 思省北 国の国 電」西の風 盛つたり

右同

暔

- (早) 若賦、近藤――佐武(盟) 2で早稲田先攻で開始、バッテリ 仁川の潮時で 晴 晴

高低の三層打で一點を暴げれば 今一回早大一走者を出したとき 早大きーー 度七最低五度四(一月)京城温度 (卅一月) う祭づたり [明日] 晴れ 京城地方 [今晚] 明れた

第及ひ木版画を展列する 第3の本版画を展列する 三日東上三週間の摩定三日東上三週間の摩に 野を一日から四日まで京城三越仙路 す完でゴ柔三 全押ムもよ に入のかよ 治て力くり















原年機萬人が親式でいました。

別並で位力を所持する男を引致 | 西から贈られた花輪に送望を埋らしてゐるが、卅一月黄金即四丁 | 蔣邦式を執行した、それでも各ち 省中の有質問取は左の時間を否せ 息 今津博士の素晴し ·埼鱼 神經痛や

行々友郎主催のもとに有野頭肉平 自の本学は卅一日海里良野寮伊那

は留実論村で行はれ、京城では同

質強級気取の母堂、故きん子刀

きのふ京城で

母堂追悼會 有賀光豊氏

当時から松幌町有賀氏郎で出場

あなた、

意志を汲んで極く内陰に同年

げます 有政 光雲 原ッます、茲に市信にて哲 原ッます、茲に市信にて哲 原ッます、茲に市信にて哲

壓 い研究

小花花潜

は歌行流 圆萬指貮百七億壹金本資

大村 能章 可 愛 はれて居る傑作 予鬼の持ち味を 明音 0) 愛 曲詩











推 程 度 京 2



















際、南岸及び東岸では北乃至北西はて一定しない、朝鮮では東龍田

であるが内陸地方及び中部の東岸

学ぶものである、乃ちシベリヤ高。際した風であるから生物に及ぼす発節風の消長は大陸高粱腔の消長。ある、冬の季節風は窓着で削も欧

影響が大である、この風のことを

次いで非常な搭成を與へるもので 漁船や小部舶単等には夏の颱風に まず時には二日も三日も吹き買く

料し郷伊南國代表の非難を形皮吸

【ロンドン三十一日同盟】ソヴェ - ト代数マイスキー大使は三十一

蘇聯再反駁

要百次の通り

ことがある、それ故強い歪印風は

三五三月

は大抵日本海やオホーフク海等で

現象が所謂三

田すが地球自轉の影響で右へ右へ

からである。西海岸及び北郎沿岸 のは説明動かなく際層が最も少い

が如何に旺盛になるかは左記の繋 の各地に於て本月になつて季節風

即風と云ふのである、冬の季節風 に偏向して吹くこの資流を冬の撃 温である太平洋に向つて風が吹き

を中心とした関係に大陸大高本暦 十を中心とした関係に大陸大高本暦 十

冬の季節風

00000

の季節風も目に立たない、それが 高氣能の勢力が解いから從つて冬

十一月になると商気味の健地に伊

大陸から

のために著しく合単し比較的語。「関風の超遅する虔は武器指院と北角分配達しその国内の意味は防」つて著しくなつて来る。朝鮮空事

氣溫零度

50000

ふのである [上川電話]

となる日

めて審理となる日の平均期日を示

き渡る。別郷版画は最低高温が初

したものである、朝鮮では北鮮及

常に少く交挙に依つての吊艇の路 きながりに大きく従って初写の期

遞信介鉛

朝鮮の冬は、緊保期の拠損であつて

てんどう

初雪·初

氷

料十一早く、温酸な簡重地方でも奥羽、 月であつて内地と比較すれば原程 訪れるがその他のところではこの び内理の中央部では早くも町月に

関味を選罪してある

度である、心して以降は指揮に比

朝鮮でも獨り商州島は死くの 地です。月の中旬となり常見の南 甲指地方の期日と一致してゐる、 がそれでも大勢を狙ぶことは出来水の如く適可では無いかも知れい 日は季節を代表するのに初詣や初 に観念を見る地域が最も置い、

によって建設される。最后は薬物的

することとだった。

半島に於ける総指國際各事業際體

太平通に新築

勝術となった高が優美として撰ふ

早い方でに早くも十月の中心 る、毎に依つての早晩は見れれが て、父最も肥く混れるのは資州で 統督の十二月二十である、次に永 下旬から十一月の上旬にかけて結 ここの初日の最も早く進つ過ばや と始める。最が宝鮮の大部分であ 月十九日である、路し十月の の京城府送留に織って着上、個 劍道大會 遞信局の柔

穌聯汽船 臨檢を受く

九月卯であるがその頃は、元だ大陸|軍法助に動しては賦乎たる質力を トル號 (三五人〇朝) がギブラ 以こ野野子る方戦と報ぜられるが タル海峡通航中スペイン革命国際 ン革命国はソヴエート政府の政府 三十一日ソガエート行動トニエス 【モスコー二十一日間間」スペイ

鮮沿岸とである、海上で風が強い一受けた、但しドニエストル戦は歌 洋艦セルヴエラ號より臨檢理企を 他は右隻軍々殿の借越行馬につき中であつたといはれる、タス通信 三十一月午後次の如く顔或した に貨物を運搬、マツームに向ふ途 ▲五百圓輕戶市區全汽船株式會社

第四十六報(正旦是在)

らず伽吉に得っせる。時に宗主、

何處かで酒を一升買ってするれ 「イエ、可けませんよ、直どころ

る。スルと土医に上つた呼出し奴

一室館……整館……日高川に砂を と質けずに叫き詰があった。

气温力零度以下二降水初日 の見から多へ変化する時期は大心

> とかしいである 明和二年と昭和九年は金

門は左の腹壁である 肝一日場行された趣情局の武音 二等杉田忠嗣(加瓦郡)。
記名中 一等恋多诗(4)

所在金融A和優勝任經常的課 各課對抗試合 優勝恆

風水害義捐 つた。 いよく一今日の角力の闘争ひに成

置いて今日の優別者に成らうと

ふ恋強つた辿中があらはれて勝貫

スルと、『新川といふ田倉角力

見物してゐるかと思ふとさうでは なく、コクリコクリと居民りをし 「モシ、お武家さま、 新聞の學生は心配して、 スルと父兵衛は先到から預力を

本朋貢であると、?」 日の本勝段で御附います。 「ウム、いゝ心地だ、何いよいよ 指り起すと、交長術が

温酸りなんかしてゐて、大丈夫で 「左続でこざいます。お武派さま 一心配するナ、今日の脳利はかな

生配に受けるなア と明ふるかあると思ふと

の小鉛位の力士があらはれて二日 を結束に投げたが、後から現れ きることになった

所ではこの宝油が健吉の父童の をして、土俵にあらばれた。 見動路は熱性して、ウワーツ、 个年の勝ちまつ他の

勿職を仕渡、紹内の頭房裝置も行「最になるからこの風を一名木枯し除程舟に染みるやりになり服とは「窯つてゐた懺本も光楽して枯れた 帳に 象 氣 包まる の蒸輪品目に含まれてゐない ム首相外交策宣明

冬の前哨である初霜も朝鮮では大抵十月中に濟んでし

朝鮮全土は長い冬の

は吹きすさんで

變り果る繰の

荒原たる姿と變り果て水も氷り初等がチラツキ始める まひ本月に入ると木枯が吹き荒び山も野も縁は失せて

かくて朝鮮全上が長い冬のミばりに全く包まれてしま

|顕世紀|||の一つとして南陽の東同 る、開時に スワソリーニ 首相はチ 急を公式に表明するものと見られ アノ外相のトイツが同の施養及ひ ることに決したが右演説において 【ミラノ三子一日同盟】 ムラソリ 一両桁の新外交域策を促出す ン革命軍政協を承認する決 衛と破害を角力小屋に案例した。衛屋の豪生が光に立つて、交兵 昨月は、城主の名代として家老の いた。紫の幕を戦りめぐらし、 が、場内をベーツと見世す、正面 の機敢には開門家の定紋を築め扱 人は奥の機敗に陣取り、父兵衛

一間塩山アッ

将業山ツ」

レントケン科条外線特二呼吸作・胃臓病

お茶は本町五清元園

と、最好々々に呼びかける。

に出て来ると、別物部からは、 間もなく名を呼ばれた力士が

と野高らかに呼び上げてるため

電腦 高野義肢製作所

江 一程単川々なな

伯 Œ

美鶴

勘演

常本(2)五五二二流 所内 時計店

に手りつの

時計と メガネ

雨期來る雨長御用意を一

いくら降っても雨の透らぬ

四日に上棟式 疑してゐた。西西の機敢には、町 間限々々の呼ぶ難で耳を握するば 人百姓武家の見物人で立建の原地 もなきまで演绎になってゐた。

角力の敷は飲々と取り辿み、三人殺み上げてある。 たる。聞いて、今日の健筋

正面の数の方へ向ひ 遊離酸を含ます、

牧せられ、アスピリンとしての解變質せず、完全に腸内より吸 全效力を遺憾なく發揮す。 元 東義 京商 店

腎中に於て分

寷

年 新生味イロ・ナーマ作物組大 川田 日本 10円日本 们晃

型 指





十月中八日一十月二日一六日間 日金町 日南京部駅祭ドファン村型の日前第一米名 (1)大毎・東日トーキー・ニュース (2)日蝕は血に染む かきゅ・芝原園

(1)大会・夏日トーキ・ニュース (2)日蝕は血に染む から第・笠原垣 半詞 (3)半 - 幸・鉱之丞兵勢 神田海、 解 東 の神日とル・ヨル 3回 午前 1 1時3 0分段院 の半部は一とル3時3 0分とり ヨルタ 3 3 0分と

支店 京場所納路

市話光化門(3)長¹⁵⁸⁰声

製作

匪首王大姑の部下の口から

店、本地湾第二首、合肥三瀬三角 りの新にコッタになつてある英語自郷山 を流し五流物医的近から緩攻、同原的近

展員 遊池 正亮 (5円)川土木皆區駐在

東山伊一昭(清州) 許田

(新義州) 三十一月午前二年ごろ 品與五香通九丁日門榮越南原、

間足いずで間深||名も該揮するに 至った、一味は旧内衙人に先立ち

るが越火原因不明に目下安東製で

させて常局の整備線性にあたらせ

してるるのを埋滅し、同夜城を連 山崎大寛:十五端縣の徐藤共〇〇、か磐神貫猷の愛娘をとんだ扱ひを 【皇書】縣南省兵第二十七編隊、

甲山農林 公民學校

除隊兵

の ○名は三十月年前九時半、軍官民 参数の盛んな記念りの裡に顕南縣

四公立監練公民學校と改務、組織

不埓な祈禱師

拘留のお灸

羅南小學校の誇り

忠北辭令

頌德碑除幕式擧行

に緊張し市内一国にわたつて

办

南總督を驚かした

年前起工したものであるがその後一この道路の完成が高楽器に興いる一

数所事業として長、新南地から三 里のいはゆる北新開拓道路は頻民

洞部から江幽界一帯に亘る大森林|新徳地から急速に膨下が

上機嫌で飛行隊の訓練と

パン工場を視察

對局者の言葉

(自) ローは間に合せですが、やでした

厳冬を眼前に控

金川は石灰町里

内地の需要旺盛と採炭制限で

いた思ひ出話

抜 等荷絕对防止



製造元

本

П

朝鮮代現店 豆城本町 Ш

木

村

参謀本部陸地測量部發行 (教)用電車部、小林商店圖一京城湖江通三小林商店圖一

清書 t

元器

特的路路線

資本金参千萬圖 中 所六十四ヶ所並に内 全解谷地に支店返出

頭取有賀光豐

制制

會

普通銀行業務 開館的 医氯基甲代甲甲年 賦定期貸付 日本風行代甲甲

京城南大門通二丁目百四十番地ノー 常 朝鮮殖 産銀行

朝鮮總督府製造 樂 生 房 東京電氣構式會社 堂

書 捌料 部 所書



備商會

其他 綿糸 釣針 カスミ網四本ツギ釣竿 三十錢ヨリ 風糸製五分目 二尋 八圓……四分二零 十圓 京城府永樂町二丁目

循品一次

Ŗ

に対い 独足後と かる 評である。

一般的様文の決定を見るのは音

間であり農体質同としてはこの否

總督 けざ歸城

た如何によっては法様の内容を多

十英細といふ意大な経費を伴つて 優先歩においては戦政艦連二世四

既務局は法律の煩难を難け最小級

の名の位大武器の資化が有部費を

てのまま承認するや否やは相當疑

こその質がを同してある農地一場合等に関する門則規定を包括、

一段川政能に事業を中途で関張した

農林局で審議進行中

は、日下総務局が中心一

合流匪を撃退

廣瀬○隊六名死傷

は日支養が道大の際外交部長の一氏が調度人であるを考慮し西江よ

種では場出です結局相氏なき」り何難氏を監視する方針を取るも

上海一日赤星特派員一条派く見が氏の領域の厚い江西省

熊式輝氏轉任か

定方針通り繋が公正安はな要い、日本側としてはあくまでい、日本側としてはあくまでに新加令を受けて来た課では単は一日左の如く縋つた

「簡宗一旦問盟」日支交渉打朗の「南京一旦問盟」日支交渉打朗の

局の動類を助くとになった、範囲するに観彩に耐するロンア側の数一 るど は考へられて あないを辿の測行場で開京に急行し川越、磯の動型に先立ちわが出先三萬 の場合に 雖も 南京 交供がだた姿勢の重要態に舞う変多、必要購得開放取も一百年前七時中國統 太僧記で義方の頭走する類果に類様でた姿勢の重要なが、との情報であるが、我方は様ので観音 【上海一日赤星特派員發】川越、聯群第七次節缺江二

より慎遠された政府の新訓令に基言交渉の段を騒だる阴判、北支の

圓満成立に努力(**薬**は語る)

利益企は三百十一萬五千二百五十 |大田|| 忠南道の帰旋による昨秋

ガム大便が参照制以する管である 代表コルバン大便、イタリー代表

忠南農事低資

四回に達し前年同期に比して百十

ボス佛外相

ンテルブーム伯、伊太利大使チエ ものと見られる、右頭説の内容と 様つたものと解されてゐる、最近 はロカルノ前線を空へ事明下作を ルッチ氏の水がな状のまれく良 して仰へられる所は次の通りであ

マ大使ウエルチエック伯、イタ 夏る散闘べを行い同日夜半飼官を 所の主張との鏡利の可能性 により専門は変した動物とフランス数 三十一日前総科内市協力の主張との鏡利の日本はドイ (位につきデルポス外租はドイ (はず)は (はず)している時代でのに帰れるに至りに対している。 (中国の計画との鏡利の見渡し等に列 (中国が指定)日敷を指し組み引き作る

本理野の一貫せる希望だと信じ | 「名音似着中を用した | 金麗寶度を蠍鹿して府立行氏と領する人である。これこそ日、蠍の選頭発電十端、我が方は飛光、た奴隷縁艦の窓門編集器は途中力する状態である。これこそ日、戦の選頭発電十端、我が方は飛光、北部部の行動で上世に向り増下した。外側の対象を強て大陸的機・大陸に関連するつまりである。 において合連時孔を用した 北平部原行地で上世に向り増下した。 小学的対象を強力とある。 において合連時孔を用した に於て抗力化単類酸に出版するも、脱すべく液臓に向った砂臓で同地

問題についてはチエルツチ氏と世界と要求してをりデルボス外相は本

七百眞

書來る六日調印

は「イタリー國土エテオピア中市たが信任限の知名をイタリー政府

既所|風水池に掘られた扶除、公川、野 させのである、なは今度未受有の主として配合肥神の施力者加によ

板對照して四半世紀の發展進步の地その他との比較に便ならしめて ります。更に各般の統計において 必要なものは能ふ限り始政営初に 必要なものは能ふ限り始政営初に が要なものは能が限り始政党初に が明本も務めてを ります。更に各般の統計において が要ならの比較に便ならしめて が明本も形別との の百科全書」的役割をも務めてを ります。更に各般の統計において が要ならの比較に便ならしめて

鮮に關係を有する人々朝鮮に關

般には座右便覧として等々

重要察考文献。

を抱く人々必讀の年鑑です

てド・サンガンテル氏を新住しランス政府はローマ生削大使と

福島によると孫推氏の副北俣協員、西氏を行物名主統で物様やしめ何 は対り無統と統結とあるがはてべき立即側 副南主際何郷氏の最戦闘艦なため、同ペリ州一日制置。デルボス彫外、が近立院場向にありデルボス外科と議員が発展という。 「ペリ州一日制置」デルボス彫外、が近立院場向にありデルボス外科という。 「ペリ州一日制置」デルボス彫外、が近立院場向にありデルボス外科という。 「ペリ州一日制置」デルボス彫外、が近立院場向にありデルボス外科という。 「一」図大様」と「重正な会員が別

【ロンドン州 |日回回| ロンドン T然 國 鐵 炭 派 手 件 在野生物を興福した公司(新生物)終生物は、特徴日本記憶士開物を「概計で後四段物館」 全国開設・士會「東京京西」、京城町上的銀で別かれた東東京城 由航送間近日戦力の情報の講演を は一月年間元明から級戦が指げ東一段後巻編から三百億名田職、司

三十二日町鉱和内田曽也氏の召喚「神説を眺るに至つたものゝ如く」、沙洋瀬原、磯東仏、磯原山、磯郎 同歌殿に頼んで混迹した[東京原書]呼悠刻観耀歌川戦や「非されたが取凋べによつて海豚の」の二名に財しては驚きず年五主的「戦後の連郷あふるる訓釈に丧告 **事は午前十時に登録。形解大麻椒** 物らず有安次離、馬場、風の三種 氏の態取時内容を検討し馬周、組有安次開極事を中心に前日の内田 単語において協議した後夕割ぎで 東京地方極斑島では一日々曜にも一覧、崔明灼、金孝田、命水萬の六 日の光行機準線技を中心とす 機事局日曜も休まず

名には何れも一年半万至一年の節

松岡總裁あす西下

しその数値を叩くに単道曲

ラ

に商工

(世)日殿理局な職)

職は十一の死祖を遺跡して潰走し

【〇〇流話】 一日午後一時山川部

山岡部隊も

た、本版頭において技が方の職先

下名 不同界北方(学二十キロの地區) 断投線に三十一日午前十時命城濱

現を期する

町十一時頃血酸西方四十キロ一県 片野部隊の顕著の隊は三十一日中

Ŋ

坂本一等兵 (子族)

間川本市解析医

◆頁傷 燕田上寧兵(埼玉)望自

上帶兵(山梨)杉原一等兵(千

断峰の高地附近において独自の合

召喚された内田前鐵相

◇議會 改 車軍 部 案の反響◇

重携して反對運動

更重の法律化 更重の法律化 とのこれた自作機制度権機権 釜原大砂両月大粉と常規、僅か一 大正十五里五月達麻省令を以 し、結論)如の其確保のため壁御 世歌川を中心とする諸四般を解経の文田歌川を中心とする諸四般を解経の文 施戦の上には更低一貫を残した南 南郷に野跡が続く、 週間の凝禁旅行ではあつたが月頭、の軍部内の敗革勢。 南域に動動を與へたり

であつて一には現在の補助規定を

との意見の下に議會の帰設師か かくる非常職な意見を採用した。幾へてのる。有意節の意向である。即使総合派大戦の意向は左の通りある。能つ、今後のし戦略がか 一意見に過ぎて政府としてもまた。 今方面に対しても勢からず動戦を、だ共和院の定期を整然へてあるがある。能つ、今後のし戦略がある。 意見に過ぎて政府としてもまた。 かくのことは未 万事形内 郎の 今方面に対しても勢からず動戦を だけ組織のが関心といていためまた。 一般疾患にに対してもと きょう 自動部においては では、「自然の意味をしては諸な協力して高数 の活用では過過をしているとなってはは、 の活用では過過をしているとなってはは、 のにおいています。数点の首観部においては でも断点を示さる。 かようことになっては 経験のために立つ外はない。

貴院各派の意向

が関づ大臣たる寺内腔相を通じし、近のて、部が肚源の象地的に歌氏です。尤も東部内の政治上の意見し、世際にし、武器等であるが、とから、尤も東部大の政治上の意見、世帯際には、武器等であるが、とから、尤も東部大戦学にこれを問題に一能つて一部が肚源の象地的に歌氏であるが、とかした個月単純に一致してあるれを過過として副東立英学のも、となした個月単純に一致してあるれを過過として副東立英学のも、となした個月単純に一致してあるれを過過として副東立英学のも、となした個月単純に一致してある。

上朋廷、被传李七片、李越群

院松本城特良語、御院校単立書つ一日午間十一時半から大師延が法

【大郎】 慶州 赤豊海 仲の公前に川

情ある判決

「ハイラルー日田盟」定権計画コロンバイル 可か下つたのごことに巡よ議言特権所に継ずの定要地域地方のの設立につき大便留 (カラル日本画工部部のの設立につき大便留 (カラル日本画工部部のの設立につき大便留 (カラル日本画工部部の)設立につき大便面 (カラル日本画工部部の)

亦農公判

社大黨の意向

位丁で脅迫したところ拒んに主人時ごろ短面型協抑入り主人を朝鮮 【全型電話】全北金級都金山血區 帰盗を組伏す

今日の天氣

馬車に刎ら

0:0 10

本社見學 全北出收公門前

四六判

え代表イーデン外相以下各自治 「日上部)は六日イギリス外粉次

代表我が吉田大使及びフランス

「朝鮮年鑑」は申すまでもなく朝

ると同時に朝鮮各方面の特殊組織ある綜合年鑑として使命を全うする総合年鑑として使命を全うする相によって最近一年間の推移を資料によって最近一年間の推移を新によって最近一年間の推移を解離し、最も新く且つ正確な統計

を提供し の見透しをつけるに重要な資料 の見透しをつけるに重要な資料 を提供し の見透しをつけるに重要な資料 て躍進朝鮮の全貌を凡ゆる角度かあとを一目窺へるやうにし、斯く ムある折柄部

TY 289

發言 大好 中 定價 圖 世 選

ては執務の参考便覧として、學徒企業の指針として、官公史にとつ企業の指針として、官公史にとつける背景を背景とする實業家にとつては

纂編報申日每·報日城京

鎭

嗽を減じさす。

乾燥性咽喉に……

にも質用せられます。

んで腹みます た小児でも塞 味が甘く

行び午後四歩終了した、成端大の元城組織整では卅一月朝八時から一京城組織整では卅一月朝八時から

鍾路署射擊會

间4(四)點,本松腳天间5(四) 點) 本內聯天同(四)]) 森山三 湖)

慶應復讐成る

オリムビック野金 オリムビック野金 (永登浦) 金穂超合では島紀コース百年に東京で強々しく開催されるオリエック大教行きの野竜和海に乗り出し官様ビラヤ官保護・「安全配便すると共に銀田連邦師師に立ちる一種と表しる。

| 出まりユピック選手課題、日本壁 第50和し(明能爆炸)|
| 上版投資手候大衛第二日は、日午 | (明能放功) 二十一分十九秒2億長春 | 原内 漁川 | (明能放力) 三十一分十九秒2億長春 | 原内 漁川 | (明能放力) | (明能爆力) | (明能爆力) | (明能爆力) | (明能爆力) | (明能爆炸) |

、原泉電話。日本曜上頭投輸盟主シデイション良好である。

整観物金のばめで西下途市名古品。 らる鬼では怪するととなつた。 一般のながたので、日午前九時東京、大阪に立ち寄り八日門前日帆のち

「時すぎ沈経」たお総本級「概念公然記憶部に帰し職家方面の「保護、昨井、角田(韓)四年時報の復復の正面の報復言語しる」(東京前書)総開留器超級は政府「時から贈宮郷場において鑑賞・研) 勝の後を受けて最大の一日午後一 退宅を飾る早豊第二 回帰は早大一 【東京電話】東京大學野球リーグ | 早大元政で脱垣、試合は終着シー 大接戦の早慶 到八つ関係が感がる。「私地四世二」 関策整備技に対する最間品は内鮮ソーゲームには靴を減じ組出れる 一般間の水彩 書 【悪山翳】 □ 佐武、總師─精本、高端、分、バッテリーは皇次皇右郎、近

校長は惠山登録物域に対して別哨 近一者方面から歌々として贈られてゐ

『 方井川山』田本湖高山塚平 炎 400040001

> 随び警長はこれ立第一般各種は所 の水形晶散十枚を贈ってきたので

枚を加度に入

ニカ演奏會 薬専ハーモ

269573844411

人激増を示す

來青閣

時から本唯名西部に関かれる、入 素質は今二日(月)仮七)・上で助の第一回ハーモ 本心心例

三浦塚さん渡湖・

「海自電路」三浦長さんは一日正 年浦昌田帆の月崩22 以下すり丸 年浦昌田帆の月崩22 以下すり丸 でお菓子さんご柳原原子さん。他 でお菓子さんで何人をフォ 入口大型を振用しに記略指統成 によった。 頼命、九州、中降十数ヶ所で眠るたっなに確測はナニ目までく配金

※秋奈(ご)の島車にはねら 中人分島場元町二ノ七七先 中人分島場元町二ノ七七先

東京・大阪田邊商店

序法にあり 一円八十歳 門

放地を和らげる… の排泄をたやすくし、苦しい涙の排泄をたやすくして、自然に咽喉をしめらげてそして居る間い痰塊を和らげてそもに咽喉をしめらせ が一ばん質用せられます。 肝要で、その目的にチェッシン りするからです、それには、常の粘液腺が跳がつたり、乾いたの粘液腺が出ますが、咽や氣管 ぜを引くと はたいへん衆 作用し、翌日 に良く

編制真サロ

來る五日まで京城三越ギャラリ

全朝鮮易重聯盟

温花逝い

一園になった思ひ出の家

産業教

て十年

闘の擴充を明する

要局·化粧品店爺

17 (多型型·提到等次)

話

を名な 担仲介人はお は電話本篇四四六六番

に於ける職業科教育を刊上の實情に鑑み今後一層初等 を励ること の未然何上に選手る程

が対フムラ病院

[黑京電話] 水田指相は二日間 重要協議

花柳病專門

淡京目案內

受附係事務員

· 工業用 開管用 開管用 開管用 用





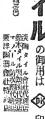






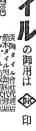






















力

(塗料)

酸。対アルカリ用 學研究所發明品

塗布にて足る錆止用



金剛

对压管。不朽不变性。 朝鮮總販壽店 三和商會京城支店 京城府未樂町二/七六(電話城局四八〇一



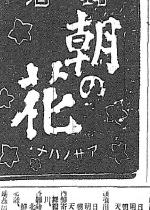


內科一般特二









調査借帆 代理店 天 海 丸 生 生 土 1

膩膩

それに肉声が して居るし で まるし

なる程素晴しらよ

パラゴンチクオンキだねこれが最近有名な

町市古 部圏楽画商爪周 東京

機闘の擴充を圖る趨向に順應し通信

し之が融通の圓滑金の供給を潤澤に を圖るの要あるも

世するが爲一層査別の開發及産業関係に於ける各種

所大なるを以て之を奨励する展産業の提興は各種の鼓明に買ふ

第八拾九囘勸業債券

-

郧九拾四囘勸樂價券

むること

第六拾五囘勸業債券

を設くること

朝

會

答

用

に亘り其の普及版 實業教育の各般

致候二付此段廣告候也

平急元利金御請求被成下度候

追而本債券ニ付テハ繰上置遷期日以後ノ利子ハ御支拂不致候間低遠開始ノ上へ

左記勸業債券ハ各表示ノ通り抽籤ノ上殘額全部ヲ繰上償還)

割增金附勸業債券繰上價還廣告

物部十一件

¥.38,00